

地域委員会等にかかるアンケート調査結果

【配布日】 平成21年1月19日(月)

【回収日】 平成21年1月20日(火)～30日(金)

【実施】 地域振興戦略部

【送付数】 125

【回答数】 101

【回答率】 81%

問1 あなたの地域はどこですか。

中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板
11	11	13	9	11	11	11	11	13

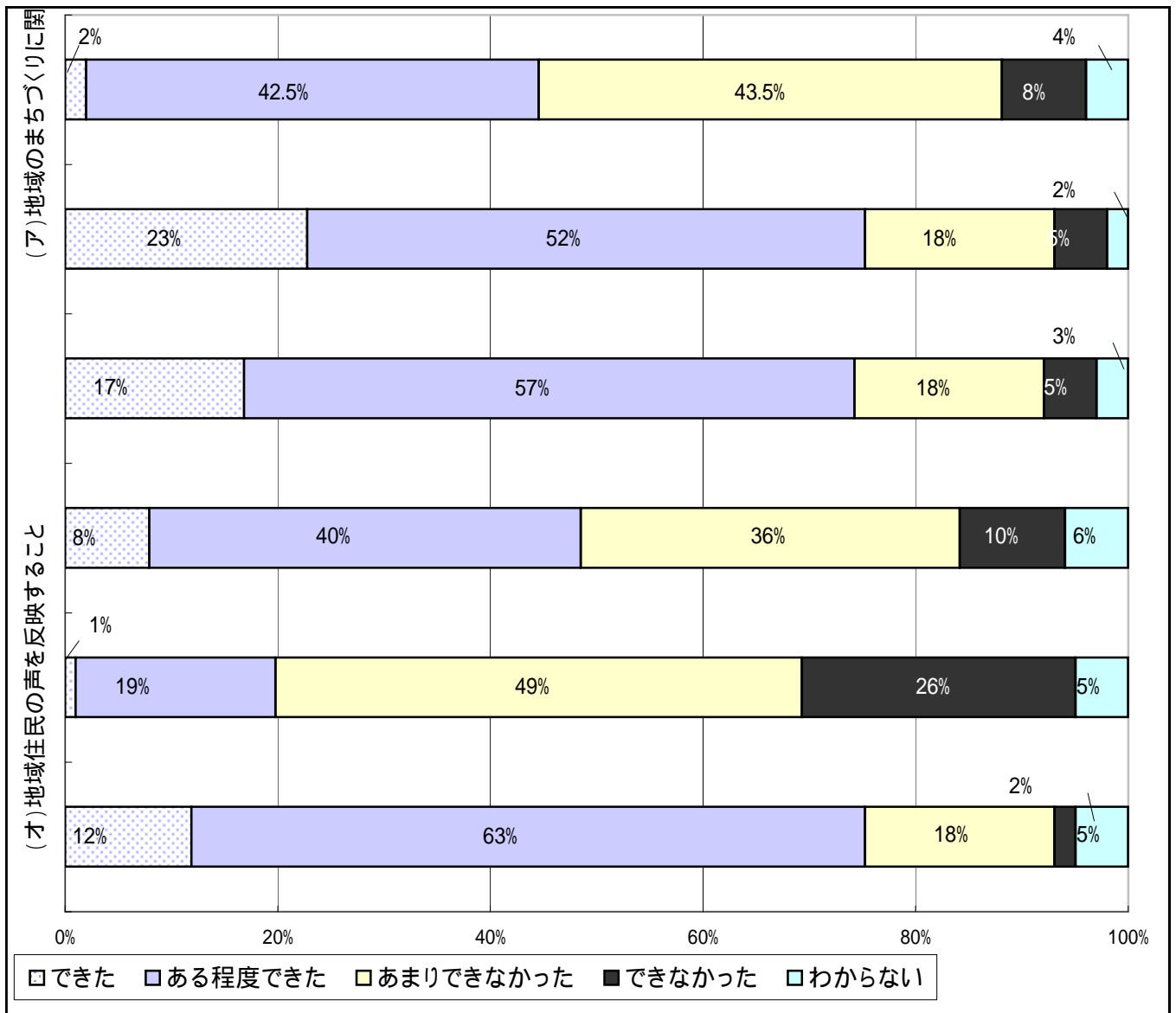
平成21年3月

長岡市地域振興戦略部

あなたの地域の地域委員会についてお聞きします。

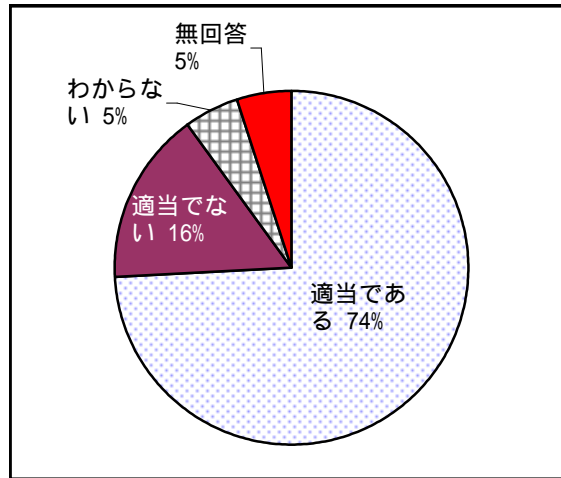
問2 全体の審議に関して、(ア)～(カ)の項目ごとに、あなたの考えに近いと思う番号を選んでください。

	できた	ある程度 できた	あまりでき なかつた	できな かつた	わからな い
(ア)地域のまちづくりに関する提案	2	43	44	8	4
(イ)ふるさと創生基金事業についての審議	23	53	18	5	2
(ウ)地域コミュニティ事業補助金申請事業の審議	17	58	18	5	3
(エ)行政からの諮問に対する十分な議論	8	41	36	10	6
(オ)地域住民の声を反映すること	1	19	50	26	5
(カ)地域委員会のスムーズな運営	12	64	18	2	5



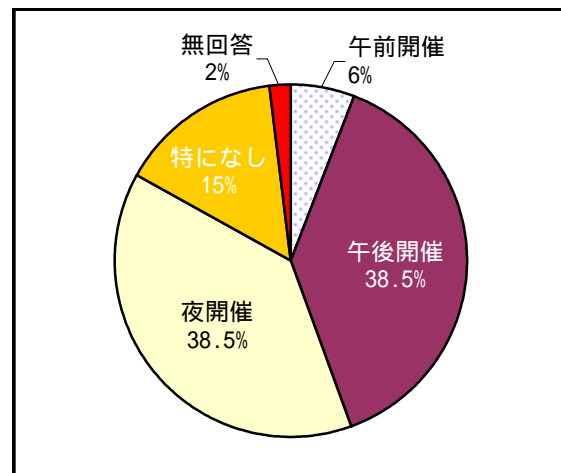
問3 会議の開催時間等についてお聞きします。
 会議の開催時間帯(午前開催、午後開催、夜開催など)について、どう思いますか。

1 適当である	75
2 適当でない	16
3 わからない	5
4 無回答	5



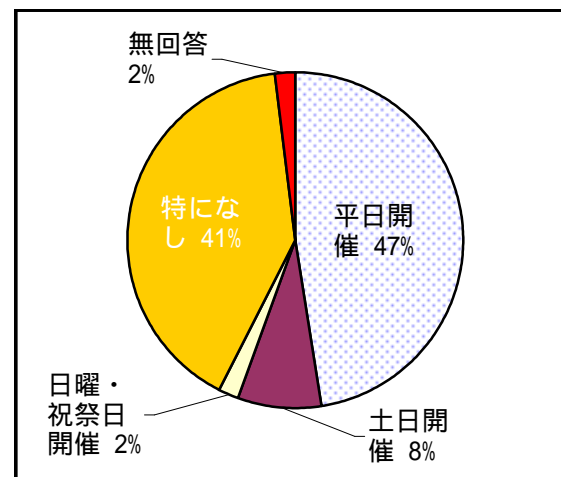
問3 希望する開催時間帯はいつですか。

1 午前開催	6
2 午後開催	39
3 夜開催	39
4 特になし	15
5 無回答	2



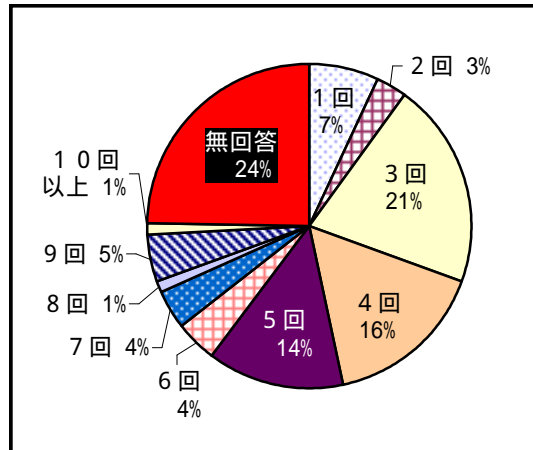
問3 希望する曜日はありますか。

1 平日開催	48
2 土曜日開催	8
3 日曜・祝祭日開催	2
4 特になし	41
5 無回答	2



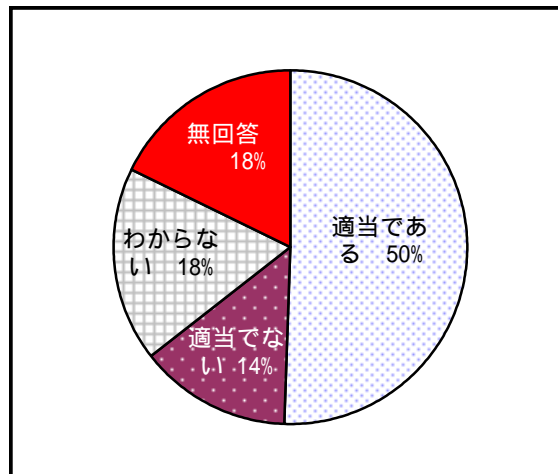
問4 分科会についてお聞きします。(分科会を設置していない地域は、「問6」に進んでください。) 平成20年度に分科会を何回開催しましたか。

1回	7
2回	3
3回	21
4回	16
5回	14
6回	4
7回	4
8回	1
9回	5
10回以上	1
無回答	25



問4 分科会の開催回数について、どう思いますか。そう思った理由もお書きください。

1 適当である	51
2 適当でない	14
3 わからない	18
4 無回答	18

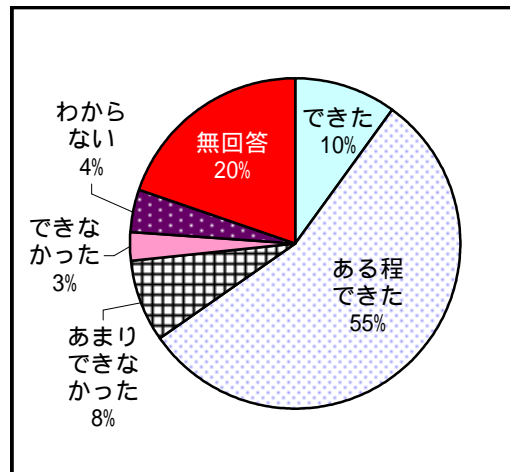


理由

- ・現状では適当。
- ・もっと回数が必要。(月1回程度)
- ・論議する時間が短く、時間的な余裕がなかった。
- ・必要に応じた開催をお願いしたい。
- ・議題が多岐にわたり、集約に時間がかかった。
- ・多いと負担、少ないと議題がぼやけて審議が進まない。
- ・分科会2回に委員会1回の割合で。
- ・回数が多かった。
- ・回数は十分だが、実現性が見えず、机上の空論になるようだ。

問5 分科会で十分な議論はできましたか。そう思った理由もお書きください。

1 できた	10
2 ある程度できた	56
3 あまりできなかった	8
4 できなかった	3
5 わからない	4
6 無回答	20

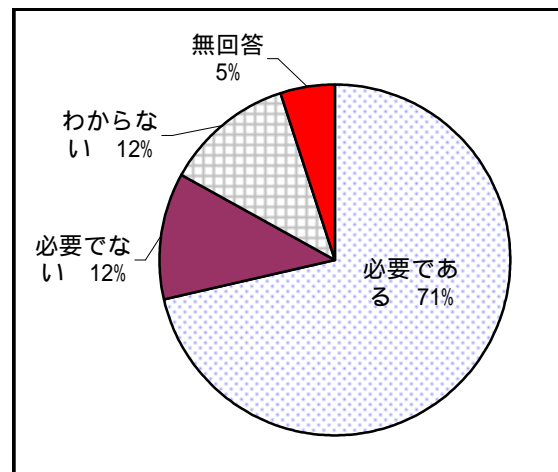


理由

- ・分野別にテーマが絞られて、話が集中できた。
- ・よく議論できた。要件を絞った議論ができた。
- ・自由に、自分の考えが言える。
- ・人数的に適当であった。
- ・回数を重ね、最後まで議論できた。
- ・回数・時間が短かった。時間を話し合う必要がある。
- ・委員会と同日開催だったため、事前・事後協議が不十分だった。
- ・会議が漠然としていて、分かりづかった。
- ・ある程度意見集約できたが、議論不足の点があった。

問6 分科会は必要だと思いますか。そう思った理由もお書きください。

1 必要である	72
2 必要でない	12
3 わからない	12
4 無回答	5

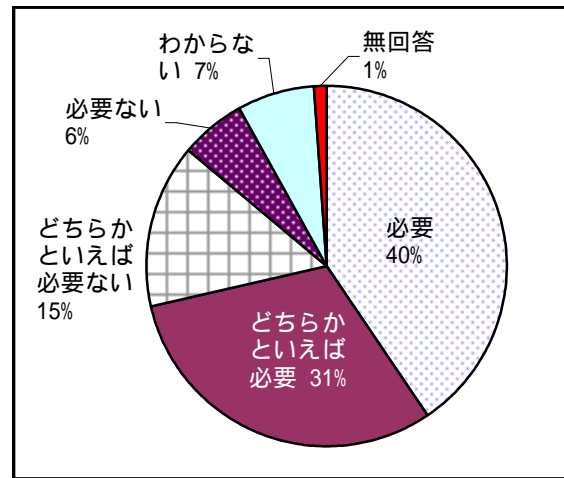


理由

- ・少人数で内容のある意見交換ができる。
- ・自由に意見が言える。
- ・専門的な話し合いができる。
- ・地域の活性化を進める上で必要である。
- ・検討課題をしっかりと議論するためには必要である。
- ・全体会の話し合いがもう少しあれば分科会は必要ない。
- ・現状の議題や運営方法であれば必要ない。
- ・地域が望むこととかけ離れた議論をしている。

問7 地域自治組織の設置期間は「概ね10年間とする。ただし、概ね5年経過後にそれまでの成果の検証を行い、必要に応じて見直しを行なう。」(合併協定書より抜粋)とあります。5年経過後にも見直しを行うとすれば、あなたは、地域委員会は必要だと思いますか。そう思う理由もお書きください。

1 必要	41
2 どちらかといえば必要	31
3 どちらかといえば必要ない	15
4 必要ない	6
5 わからない	7
6 無回答	1



理由

- ・地域活性化を推進するため必要である。
- ・地域の要望、住民の声を行政に届けるためにも必要である。
- ・自由な発言ができる機関でもあり、地域と行政の架け橋となる期間として必要。
- ・長岡に一本化すべき。
- ・決定事項を審議するだけで、住民の声を反映する機会がない。
- ・市民の意見を代弁する目的を果たしていない。

問8 地域委員会の議題や運営等について、地域委員会、支所へのご意見・ご要望や改善したほうがいいことなど、ご自由にお書きください。

地域委員会

意見

- ・委員会独自の議題が審議できるように。
- ・委員からの提案型会議にした方がいい。
- ・委員会では委員が自主的に運営した方がいい。
- ・文書報告が長く、本当の意味での会議が短い。
- ・会議の日程は1ヶ月位前に連絡してほしい。
- ・今回の公募は良かった。もっと増やしてもいい。
- ・住民に身近な問題についての議案があるといい。
- ・「地域のまちづくりに関しての提案」をメインとして様々な意見を出して話し合ったほうがよい。

要望

- ・男女・年齢構成などを考慮し、幅広い人選を望む。
- ・地域団体と意見交換し、市民と接する交流の場を設けては、市民との対話集会を。
- ・委員会では必ず全員の考えを発言させてはどうか。
- ・インターネット上に、もう少し多くの写真入り記事を載せ、住民にも活動を周知する。
- ・新しい委員に対して仕事の内容などを説明して理解してもらうことが大切。

改善

- ・町の行事や各種活動へ積極的に参加する。
- ・開催回数・時間が少ないのでは。
- ・事前の資料配布をお願いしたい。
- ・出席率の低い場合の対応を。

支所

意見

- ・住民と話し合いができる体制づくりを望む。
- ・活気がなくなったように感じる。
- ・支所権限が小さく、合併後の地域間格差が大きくなってきている。
- ・質問に対しては前向きに答えてほしい。

要望

- ・現状のままでよい。
- ・支所職員は地域の要望等を聞き、実現する努力をしてほしい。
- ・当日活発な意見をするためにも事前に資料を配布してほしい。
- ・委員の推薦は幅広く。
- ・地域委員の公募は賛成。
- ・本庁の言いなりにならず、地元の要望をよく伝えてほしい。
- ・本庁に聞かなければ、が多すぎる。

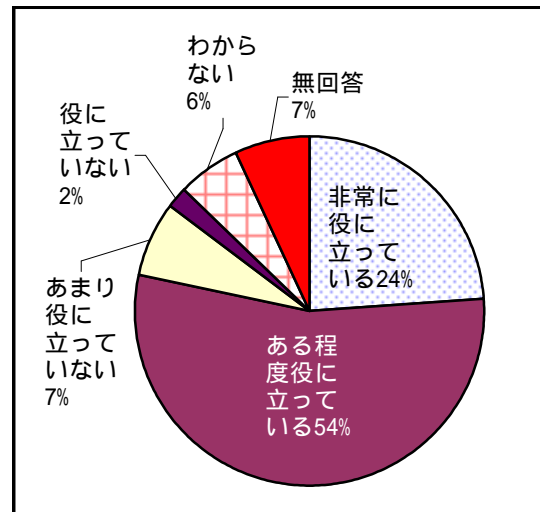
改善

- ・新人委員が加わることで、よりよい意見が出るはず。
- ・会議資料を事前配布し、十分な審議ができるようにしてほしい。
- ・行政の横の連絡が欠如しているから直してほしい。
- ・地域在住の職員が減ってきており、密着型行政が薄れていく気がする。

ふるさと創生基金事業についてお聞きします。

問9 あなたの地域で取り組まれたこの事業は、地域振興に役に立っていると思いますか。そう思った理由もお書きください。

1 非常に役に立っている	24
2 ある程度役に立っている	55
3 あまり役に立っていない	7
4 役に立っていない	2
5 わからない	6
6 無回答	7



理由

- ・地域の活性化に役立っている。
- ・地域内のコミュニケーションが取れる。
- ・地域の魅力発掘に役立った。
- ・地域への支援はありがたい。
- ・役立っているが、その後の賑わいを継続することが課題。
- ・住民が関心をもっているか疑問。
- ・単発的・総花的事業が続いている。

問10 今後、この事業は、あなたの地域でどのようなことを優先的に行っていけば良いと思いますか。該当するものを三つまで選び、優先順に番号を書いてください。

	優先1	優先2	優先3
1 地域資源を活用したイベント等、交流人口を増やす事業	23	10	15
2 地域の環境保全等に関する事業	8	13	11
3 地域に古くから伝わる伝統芸能・文化等の保存・継承事業	13	16	15
4 高齢者介護など福祉関連の事業	5	9	9
5 講演会や勉強会など人材育成に関する事業	1	6	7
6 震災等の関連事業や、防災体制などを推進する事業	5	12	3
7 地域や集落をイメージアップするなどの事業	7	15	10
8 総合計画の地域展望の実現に向けた、具体的なソフト事業	30	9	20
9 その他	2	3	2
10 無回答			7

9 その他:

優先1 地域美化運動(河川・道路・水田などのゴミ清掃)

優先1 世界、日本、新潟県、長岡市、地域をふまえた人材の育成。

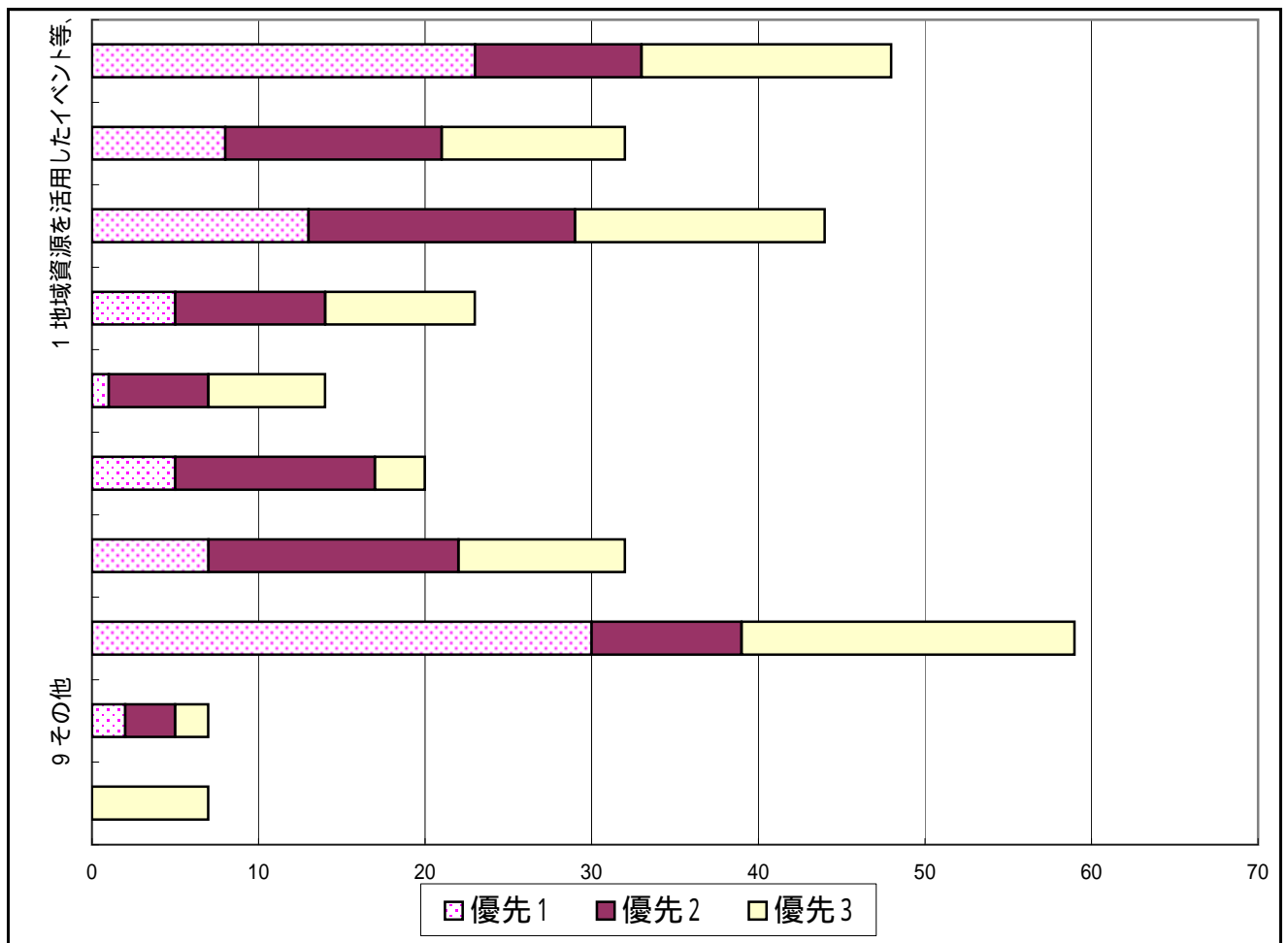
優先2 勉強会、人材育成(地域の問題解決等) 5の例は人材とは違う。

優先2 地域住民が集まったり楽しめる公園作り(桜やつつじ)などを植える。

優先2 農山村定住促進事業

優先3 教育

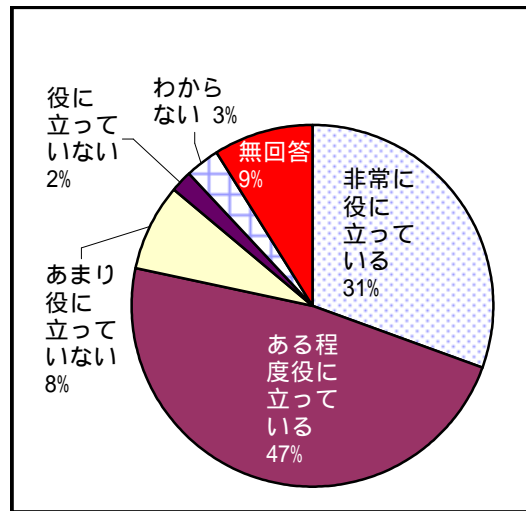
優先3 結婚促進事業



地域コミュニティ事業補助金についてお聞きします。

問11 この事業は、まちづくり活動に対する支援として役に立っていると思いますか。そう思った理由もお書きください。

1 非常に役に立っている	31
2 ある程度役に立っている	48
3 あまり役に立っていない	8
4 役に立っていない	2
5 わからない	3
6 無回答	9



理由

- ・事業を通して地域の和が保てる。
- ・地域の活性化に役立っている。
- ・資金面での支援継続を望む。
- ・補助金がなければできない。
- ・単年度ではなく、継続的なシステムにしてはどうか。
- ・地域コミュニティ事業補助金を単年度とせず、1事業が軌道に乗る3年くらいの継続補助としては、

自由意見欄

問12 その他、ご意見・ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。

- ・本庁は支所を通じて地域の状況を把握し、市政に役立ててほしい。
- ・地域委員会、支所、本庁がいろいろな問題について交流しあった方がいい。
- ・市役所移転により、市中心街が活性されるにつれ、各地域が衰退する恐れがあり、支所の存在価値も薄れていく。
- ・公民館とコミュニティセンターの充実。建設要望に応じてほしい。
- ・地域委員会設置可能期間の残り5年で、発言・発信していかないと、地域が埋没する。
- ・コミュニティセンターの位置づけは急がず、本当必要なものは何か住民と話し合い、行政も情報提供して協議すべき。
- ・支所機能を強化すべき。連絡所であってはならない。そのためにも支所職員の教育養成を強めること。
- ・建設課、産業課に係る部分の支所権限を強化する必要がある。
- ・地域委員会を継続するのなら、多くの人に参加して意見を述べる会であってほしい。そのためにも委員の再任は1回とするか、一期ごとに半数の改選。(再任1回)
- ・周辺地域も実直に地域活動を行い、新市としての初心を振り返ることが5年目の年と思う。
- ・委員会は議題に沿った意見が大半で、会議の終わりに、その他で質疑・要望を求めても時間を気にして活発な意見などでてこない。
- ・行政への疑問・要望などに耳を傾け、後日、行政と委員とで事前検討して、次回委員会の議題に盛り込むべき。
- ・行政及び市議会への議題の投げかけ等も今後できたらよいと思う。
- ・住民の声を反映するよう、行政は委員の声にも耳を傾け活気ある支所にしてほしい。支所長には本庁との架け橋になってほしい。
- ・若い人が入ることはいいこと。30代、40代、50代、60代と選ばれよかった。

分科会の回数

少人数で、意見が言いやすい。
テーマを絞って、深い議論ができた。
もっと回数が必要。(月1回程度)
論議する時間が短く、時間的な余裕がなかった。
必要に応じた開催をお願いしたい。
議題が多岐にわたり、集約に時間がかかった。
委員会独自の提案がない、会議が尻つぼみだった。

分科会での議論

分野別にテーマが絞られて、話が集中できた。
よく議論できた。要件を絞った議論ができた。
自由に、自分の考えが言える。
人数的に適当であった。
回数を重ね、最後まで議論できた。
回数・時間が短かった。時間を話し合う必要がある。
委員会と同日開催だったため、事前・事後協議が不十分だった。
会議が漠然としていて、分かりづらかった。
ある程度意見集約できたが、議論不足の点があった。

分科会の必要性

分野別にテーマが絞られて集中した話ができる。
少人数で内容のある意見交換ができる。
自由に意見が言える。
専門的な話し合いができる。
地域の活性化を進める上で必要である。
検討課題をしっかりと議論するためには必要である。
全体会の話し合いがもう少しあれば分科会は必要ない。
現状の議題や運営方法であれば必要ない。
地域が望むこととかけ離れた議論をしている。

地域委員会の必要性

地域活性化を推進するため必要である。
地域の要望、住民の声を行政に届けるためにも必要である。
自由な発言ができる機関でもあり、地域と行政の架け橋となる期間として必要。
長岡に一本化すべき。
決定事項を審議するだけで、住民の声を反映する機会がない。
市民の意見を代弁する目的を果たしていない。

ふる創

地域の活性化に役立っている。
地域内のコミュニケーションが取れる。
地域の魅力発掘に役立った。
地域への支援はありがたい。
役立っているが、その後の賑わいを継続することが課題。
住民が関心をもっているか疑問。
単発的・総花的事業が続いている。

コミュニティ

事業を通して地域の和が保てる。
地域の活性化に役立っている。
資金面での支援継続を望む。
補助金がなければできない。
単年度ではなく、継続的なシステムにしてはどうか。

地域委員会

意見

幅広い年齢層から選出してほしい。

委員会では全員が発言すべき。

委員会独自の議題が審議できるように。

委員からの提案型会議にした方がいい。

委員会では委員が自主的に運営した方がいい。

文書報告が長く、本当の意味での会議が短い。

会議の日程は1ヶ月位前に連絡してほしい

今回の公募は良かった。もっと増やしてもよい。

住民に身近な問題についての議案があるといい。

「地域のまちづくりに関しての提案」をメインとして様々な意見を出して話し合ったほうがよい

要望

男女・年齢構成などを考慮し、幅広い人選を望む。

会議資料を事前に配布してほしい。

地域団体と意見交換し、市民と接する交流の場を設けては。市民との対話集会を。

地域イベント等に積極的に参加した方がいい。

委員会では必ず全員の考えを発言させてはどうか。

インターネット上に、もう少し多くの写真入り記事を載せ、住民にも活動を周知する。

新しい委員に対して仕事の内容などを説明して理解してもらうことが大切。

改善

町の行事や各種活動へ積極的に参加する。

開催回数・時間が少ないのでは。

事前の資料配布をお願いしたい。

出席率の低い場合の対応を。

町内会、各種住民団体、学校関係等の会合に出席し、地域委員会と融合しあう場が必要。

支所

意見

住民と話し合いができる体制づくりを望む。

活気がなくなったように感じる。

支所権限が小さく、合併後の地域間格差が大きくなってきている。

若者を選任した方がいい。

質問に対しては前向きに答えてほしい。

要望

現状のままでよい。

支所職員は地域の要望等を聞き、実現する努力をしてほしい。

事前の資料配布はありがたい。

当日活発な意見をするためにも事前に資料を配布してほしい。

委員の推薦は幅広く。

地域委員の公募は賛成。

本庁の言いなりにならず、地元の要望をよく伝えてほしい。

本庁に聞かなければ、が多すぎる。

改善

新人委員が加わることで、よりよい意見が出るはず。

会議資料を事前配布し、十分な審議ができるようにしてほしい。

行政の横の連絡が欠如しているから直してほしい。

地域在住の職員が減ってきており、密着型行政が薄れていく気がする。

自由意見

本庁は支所を通じて地域の状況を把握し、市政に役立ててほしい。

地域委員会、支所、本庁がいろいろな問題について交流があった方がいい。

市役所移転により、市中心街が活性されるにつれ、各地域が衰退する恐れがあり、支所の存在価値も薄れていく。

公民館とコミュニティセンターの充実。建設要望に応じてほしい。

地域委員会設置可能期間の残り5年で、発言・発信していかないと、地域が埋没する。

コミュニティセンターの位置づけは急がず、本当必要なものは何か住民と話し合い、行政も情報提供して協議すべき。

支所機能を強化すべき。連絡所であってはならない。

そのためにも支所職員の教育養成を強めること。

建設課、産業課に係る部分の支所権限を強化する必要がある

地域委員会を継続するのなら、多くの人が参加して意見を述べる会であってほしい。

そのためにも委員の再任は1回とするか、一期ごとに半数の改選(再任1回)

周辺地域も実直に地域活動を行い、新市としての初心を振り返ることが5年目の年と思う。

委員会は議題に沿った意見が大半で、会議の終わりに、その他で質疑・要望を求めても時間を気にして活発な意見などでてこない。

行政への疑問・要望などに耳を傾け、後日、行政と委員とで事前検討して、次回委員会の議題に盛り込むべき。

行政及び市議会への議題の投げかけ当も今後できたらよいと思う。

住民の声を反映するよう、行政は委員の声にも耳を傾け活気ある支所にしてほしい。

支所長には本庁との架け橋になってほしい。

若い人が入ることはいいこと。30代、40代、50代、60代と選ばれよかった

地域委員会が行政の翼賛化にならないよう、自立性を持つことが今後とも必要

議会はインターネットで素早く配信しているが、地域委員会の情報が各地域バラバラで、ちよつと不足している気がする。

合併後、本庁に権限が集中し、支所権限が弱くなっている。もっと支所に権限を与えてほしい。

本庁の各部を各地域に分散しては？

公民館事業が少なくなっているのは職員減により手が回らないのが理由だと思う。地域が元気になるにはお金のかかる習い事より公民館での講座を増やすのが一番。

地域コミュニティ事業補助金を単年度とせず、1事業が軌道に乗る3年くらいの継続補助としては。

住民サービスの点からみると、小コミュニティ活動を活発にすることが必要。1人暮らしの家屋、田畑・山の荒廃が目にあがる

市の公共交通基本計画を一読したが、周辺部に散在する集落から中心部への交通体系の

更なる整備増強を望む。交通不備の限界集落を作ってはいけない

・地域固有業務は将来ずっと約束されるものか不安がある。消雪パイプの整備・維持管理、冬期集落保安要員、事務嘱託費等、特に生活に直接関係する事業は現状を維持するよう強く要望します

・人口減少により、集落の役員選出、運営が出来なくなることが予測される。地域維持のためにも行政の指導力と地域が積極的に取り組む体制づくりを望む。

・委員個々について意識に相当の温度差があった。委員会を建設的に運営するためにも、ある程度の常識的知識を有する委員構成が望ましい。

町制から市政、そして支所機能にて行政運営されるわけだから、地域、集落、町内会単位からの行政への要望事項の進捗が非常に低下しているとの声が地区より聞かれる。スケールメリットは増加したが、細かいところは手届かずの感じ。合併してよかった！との思われる地域づくりを望みたい。支所力、対応能力の低下を感じる。

・行政として地域委員会に求めるコンセプトを具体的に示されることも有意義に作用するはず。

地域委員会が不満の言い合いだけであつてはつまらない会になってしまう。

・コミュニティセンターについて、コミセンを中心に気軽に利用でき、行政とは一味違ったシステムづくりを願う

・合併したが、まだまだ一体感を持つところまではいってないようだ。少しずつ交流を深めていくことが必要かもしれな。「国体」や「天地人」などいろいろな材料を利用しながら、皆が「良い長岡」を実感できるようにしてほしい。山から海まで自分達の誇れる故郷を早く実現したい。市のリーダーシップを取られる方々には頑張っていたきたい。応援している。私達もできる事は限られていますが、協力していきたい。

- ・「地域委員は市長の附属機関として条例にあり、地域委員は各々の地区の町づくりに調査、提案」とあるが、議題は主にふるさと創生基金、コミュニティに関する事項だった。行政が叩き台を作った事業となると地域の声は？と疑問が残る。
- ・行政で何かを作る際に、利用する住民の考え・意見を取り入れる仕組みを作してほしい。